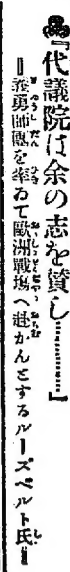


米國領事館を訪ふ

立寄毎の提議名狀を度會直より



殿下御一行の特別列車は十三寺十分永興を残し四時

阪を唱
阪の跡高を移して買物益多く更に九
十七錢と燭致し六錢と散會を告げた
市兒は衣袋買氣旺盛にて更に所高

黄海道延平島

急激實に一圓六十

金谷生

△全賣一萬千餘石九千餘石
△賣二萬二千餘石買一萬四千餘石
①六千餘石買三千餘石

米國は已を得ず出兵す

一三四
錢錢

議院は遂に其の出征許可を決定

尤も賤賈しつゝあるものは山葵にして本品は世上の好魚氣に連れ賣行き

1990

二十四	サキ	五〇	カブ	二五
二十五	ソラ	五〇	ダイ	二五
二十六	ビ	五〇	コン	二五

會に盡す義務に於ても亦

1. *Journal of the American Medical Association*, 1997; 277: 1001-1005.

1

1

100

10

1

怒濤の月

小林龍月作 武内桂舟書

百六十六
心頭波瀾「三」の五
「閣下、未だなるが左様に御意に
通りました。私に於て無上の光
榮を御座います。先にお願ひ致し
ました通り、本年の秋には是非無
き御座います。交際へは出掛け
てお見せ下されうやうやとお願
ひする事が出来ますれば、此の上
御座います。」
「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」



「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」
「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」

宮内省御用達
最上清酢
MARUKAN
品質及製造高日本第一也
美味滋養食料日本第一也
目下通年太本
所張出城京本
番五四二話電

「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」
「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」

「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」
「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」

「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」
「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」

「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」
「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」

「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」
「三郎は深く感謝の意を表した。
「いや、それは何となくおかし
な事だ。」

馥郁たる芳香を有する
純良化粧用水石鹼
ミツワ水石鹼
肌質の荒れぬ
化粧用水石鹼
ミツワ水石鹼
化粧用水石鹼

ミツワ椿油
油椿ワツ
油椿ワツ
油椿ワツ

丸見屋商店
丸見屋商店
丸見屋商店
丸見屋商店

江頭眼科醫院
江頭眼科醫院
江頭眼科醫院
江頭眼科醫院

完全第一の
赤毛染
赤毛染
赤毛染

資本金五百萬圓
銀行一般の業務
銀行一般の業務
銀行一般の業務

汽船金山出帆廣告
汽船金山出帆廣告
汽船金山出帆廣告
汽船金山出帆廣告

朝鮮郵船
朝鮮郵船
朝鮮郵船
朝鮮郵船

丸見屋商店
丸見屋商店
丸見屋商店
丸見屋商店